

病害虫防除技術情報第7号

令和5年8月14日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生量が多い状況です。

- 1 対象作物：ダイズ、ネギ、イチゴ
- 2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
- 3 発生状況と今後の予測
 - 1) 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（7月第3半旬～8月第2半旬）は895頭（平年398.4頭）と多い状況です（図1）。
 - 2) ダイズの巡回調査圃場（8月第1～2週）では、白変葉の発生か所数は0.85か所/a（平年0.48か所/a）と多い状況です。
 - 3) 有効積算温度による予測（計算日8月8日）では、雄成虫誘殺ピークは8月12日と予測されます。そのため、若齢幼虫は8月19日ごろから発生すると考えられます（表1）。

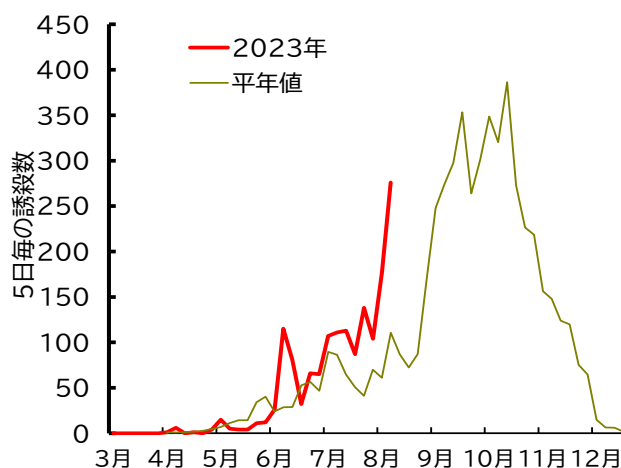


図1 フェロモントラップによる
ハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長

表1 雄成虫発生ピークと防除適期

発生ピーク 予測日	防除適期
8月12日	8月19日～ 22日

※松阪市嬉野川北町の場合



写真 1 ダイズ白変葉



写真 2 ハスモンヨトウ卵塊



写真 3 ハスモンヨトウ若齢幼虫

4 防除対策

- 1) こまめには場を見回り、薄茶色の毛で覆われた卵塊や白変葉を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺してください（写真1～3）。
- 2) 幼虫が大きくなると薬剤の効果が低下するので若齢のうちに防除してください。
- 3) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- 4) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。
(<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>)
- 5) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。